

市長のふれあい訪問



「川口茶道会」

昭和50年10月に発足し、茶会をはじめ、茶筌供養会、茶道に関する研究会の開催、市主催行事への参加など、さまざまな活動を行っている「川口茶道会」を岡村市長が訪問。その活動内容などをお聞きしました。

市長 新年あけましておめでとうございませぬ。平成21年の清々しい新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

今年も市長のふれあい訪問、がんばっていきますので、よろしくお願ひいたします。平成21年最初の市長のふれあい訪問は、「川口茶道会」のみなさんです。はじめに岩田会長にお聞きしますが、川口茶道会は、いつ発足したのですか。

岩田 昭和50年10月です。発足して34年目になります。

市長 どれくらいの流れ派のみなさんがお集まりになっているのですか。

永井 川口茶道会は8流派、49人の会員で構成されています。

市長 流派によって、作法の違いはあるのですか。

楢井 立ち振る舞いやお茶の点て方、いただきますなどが異なります。

市長 一人前になるには、何年くらいかかるのですか。

石井 個人差があると思います。私も江戸千家の流派にお世話になり30年になります。まだまだ実力が伴っていません。今でも毎日勉強中です。

市長 年間をとおして、どのような活動をされているのですか。

岩田 毎年1月に行われる、はたちの集いに参加して、新成人の方にお茶を召し上がっていただいたり、夏に開催される、国際文化交流フェスティバルに参加して、外

国の方にお茶を振る舞ったりしています。また、流派を超えて茶筌供養をしたり、春と秋には、旧田中家住宅でお茶会を開催しています。研修旅行も行っていて、今年は飛騨高山へ行ってきました。

市長 道具を大事にしよという感謝の気持ちで、長年使い慣れた道具を供養するということは、大事なことですな。

昨年のはたちの集いのお茶会に参加しての感想はいかがですか。

丸山 若い方にお茶を一服差し上げる機会をいただき、感謝しています。このような機会がないと、若い方に茶道の良さを広めることができませぬので、大変ありがたく思っています。

市長 春と秋のお茶会には、何人くらい参加されるのですか。

楢井 会員は49人ですが、お茶会には毎回400人近い方に参加してもらっています。

市長 茶道の魅力は何でしょう。

岩田 茶道は、奥行きが深いことだと思います。茶道は、掛け物、塗り物、焼き物、それぞれの歴史が長く、学んで行けば行くほど奥が深いもので、若い方にも学んでほしいと思っています。

市長 そうしますと、茶道は単にお茶を点てるだけではないのですな。



利根川 まず、奥行きが深いことだと思います。茶道は、掛け物、塗り物、焼き物、それぞれの歴史が長く、学んで行けば行くほど奥が深いもので、若い方にも学んでほしいと思っています。

市長 そうしますと、茶道は単にお茶を点てるだけではないのですな。

私も、茶道は日本独特の文化、総合的な日本芸術の集大成だと思っています。

また、文化財に登録されている旧田中家住宅もどんどん利用していただき、茶道の普及に努めていただければと思います。

最後に、これからの抱負などをお聞かせください。

岩田 茶道などの芸事は、若い時から続けることが大事だと思います。また、若い時から志すことを期待していますので、ぜひ若い方も、一度お茶会などに参加していただき、茶道の魅力を知っていただければと思います。

市長 これからも、文化の伝承にご尽力ください。いろいろな席でお茶会が開かれていますので、市民のみなさんもぜひ参加していただき、茶道の文化に触れていただければと思います。今日はありがとうございました。

また、いろいろな席でお茶会が開かれていますので、市民のみなさんもぜひ参加していただき、茶道の文化に触れていただければと思います。今日はありがとうございました。